

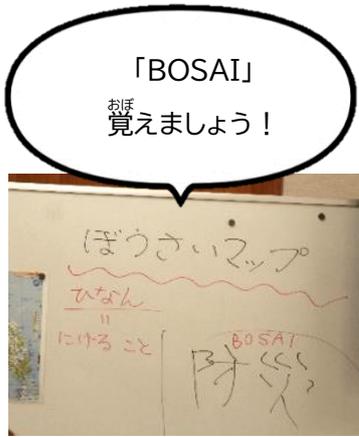
# 台風や地震から助かるために大切なこと



「防災」は、台風や地震の前に準備することです。みなさんは、「防災」について考えたことはありますか？

豊岡市には、78,000人の日本人と950人の外国人が住んでいます。

豊岡市に住むみなで、外国人の「防災」について考えてみましょう。



大切な日本語(例)  
「にげて」「しゃがんで」  
「たすけて」  
「避難」「防災無線」

11月12日、「多文化交流サロン(※)」がありました。タイ・フィリピン・ベトナムの人が9人参加しました。豊岡市国際交流協会(TIA)と豊岡市防災課が、台風や地震の情報を伝える方法や、台風や地震から助かる方法を教えました。

豊岡市では、2004年に、台風でたくさんの家が水に浸かりました。木下恒男さんは、その時、大変な経験をした人です。木下さんは「近くに住む人に、台風があった時の話を聞いてください。『防災』で気をつけることを教えてくれると思います」と話しました。

TIAの稲葉康介さんは「私たちは、台風や地震が起きた時に、皆さんをすぐに助けられません。近くに住む人たちと助け合うことが大切です。近くに住む人たちと仲良くしましょう」と話しました。



難しい日本語は、スマートフォンで通訳しました。

私たちの家は安全？「防災マップ」で確認しました。



豊岡市に台風が来た時の写真を見ました。



稲葉さんは、日本人に、「自分から話しかけにくい外国人がいま  
す」「近くにいる外国人をイベントに誘って、仲良くなっしてほしいで  
す」と話します。  
外国人も日本人も、みんな、話してみることが大切です。仲良く  
なれると、台風や地震が起きた時も、きっと助け合えます。みんな  
で、「一緒に笑顔で生活すること」を考えましょう。

原文は、こちらをご覧ください↓



<http://www.toyooka-wel.jp/find/magazine/2022/202>

## みんなで話そう「多文化交流サロン」(※)

外国人が相談をしたり、いろいろな人と話せるところです。豊岡市国際  
交流協会(TIA)とにほんご豊岡あいうえおが、交代でイベントを企画し  
ています。詳しくは、二次元コードから確認してください。

いつ:毎月第2・4土曜日 午後1時30分から午後4時30分まで

どこで:Aity4階 WACCU TOYOOKA 学習室A

お金:いりません

